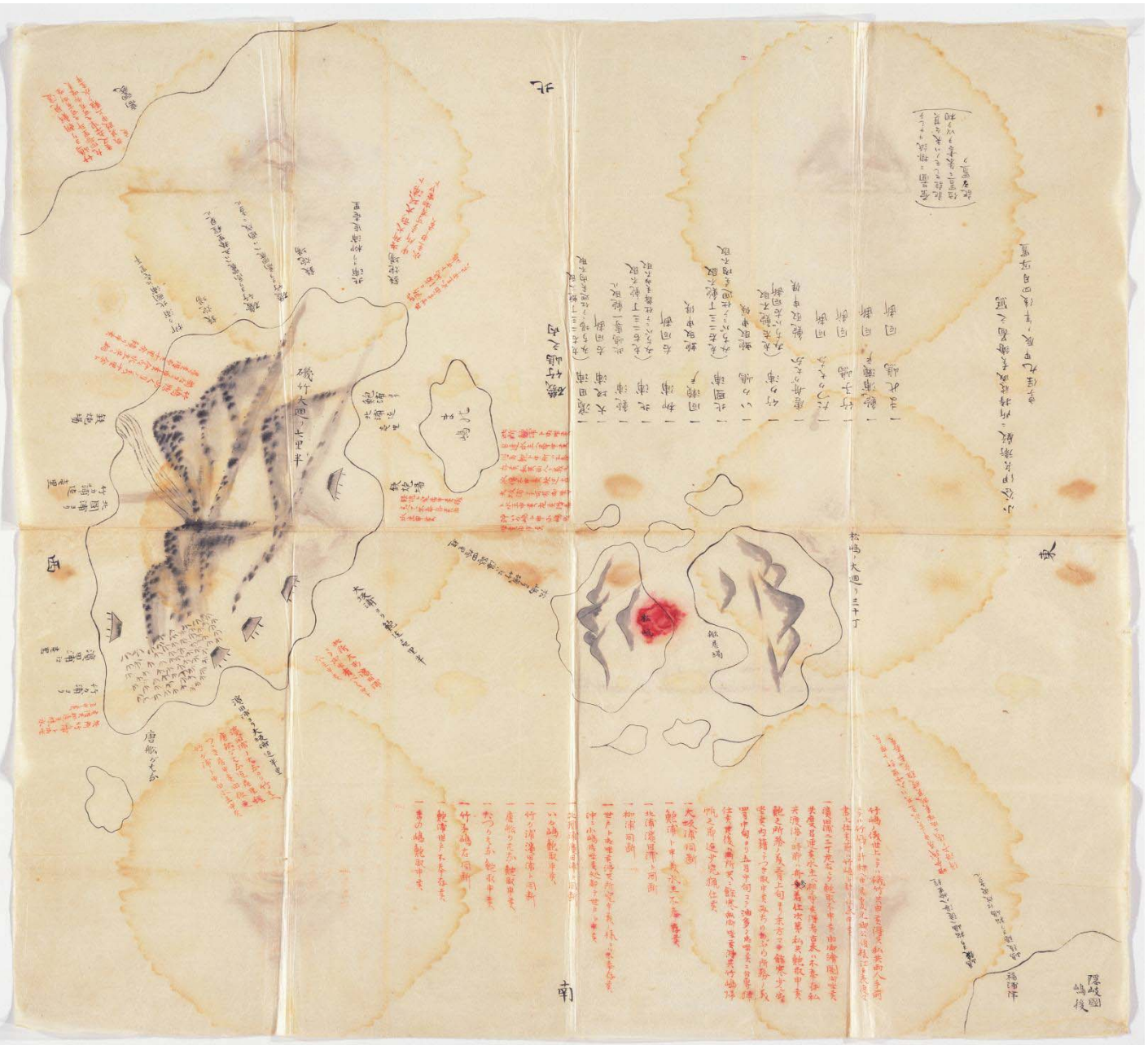


『小谷伊兵衛殿二所持被成候竹嶋之絵図之写』

享保9(1724)年



大谷家 『竹島有増之絵図』 享保9(1724)年



明治10年 太政官指令

(『明治九年 地籍』所収)

明治九年 地理部
地籍
第一種 文書科

2
3 冊の内 2

可裨存可赴其忌、謹言

上座 相模守

五月廿日

戸田 山棟守

阿倍 豊後守

大久 保加賀守

松平 伯耆守殿

元和四年丁巳ヨリ元禄八年乙亥ニ至、凡七十八年
因ニ云フ隠岐國隠代郡中庄村字福楠ノ桑文天女社
ナリハ當時大谷村川内家海波平穂新祀、爲建立立所
ナリ今ニ至リテ本社修繕ヲ加フ
相傳フ當時神澤氏
ニ當ハ必ス之ヲ而シテ告リ

ノ変アリ幕府外事ヲ若キト能ハズ遂ニ爰ニ
是ト云フ今大谷氏傳フ所享保身間ノ
衆圖ヲ縮寫シ是ヲ附ス尚両家所藏ノ
古文書等ハ他日騰寫ノ成ヲ俟テ全備
セントス

書面竹窗外一紙之儀を存邦
関係無之儀ハ不相心得奉

内帑江太久保利通代理
心屋十平中月五力内帑文輔前密

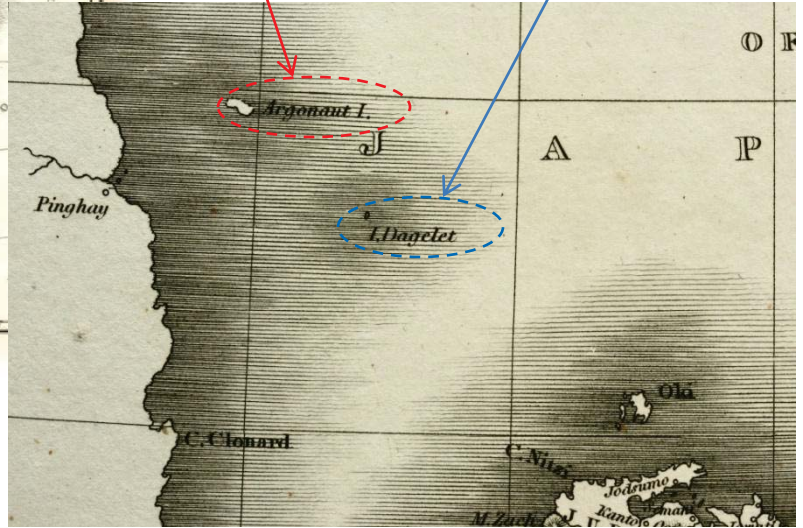
アルゴノート島とダジュレー島

『JAPAN』 1817年 イギリス製



アルゴノート島

ダジュレー島



『CHINOIS ET DU JAPON』
1821年 フランス製

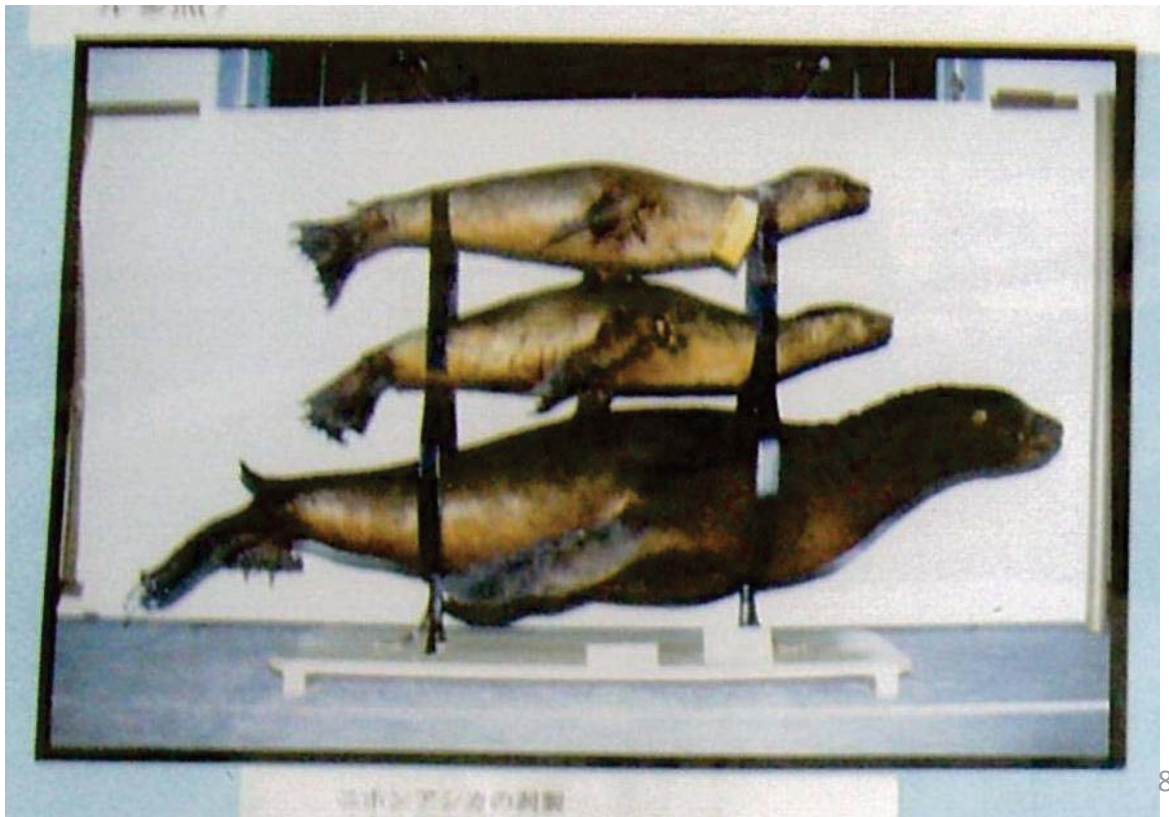


シーボルト

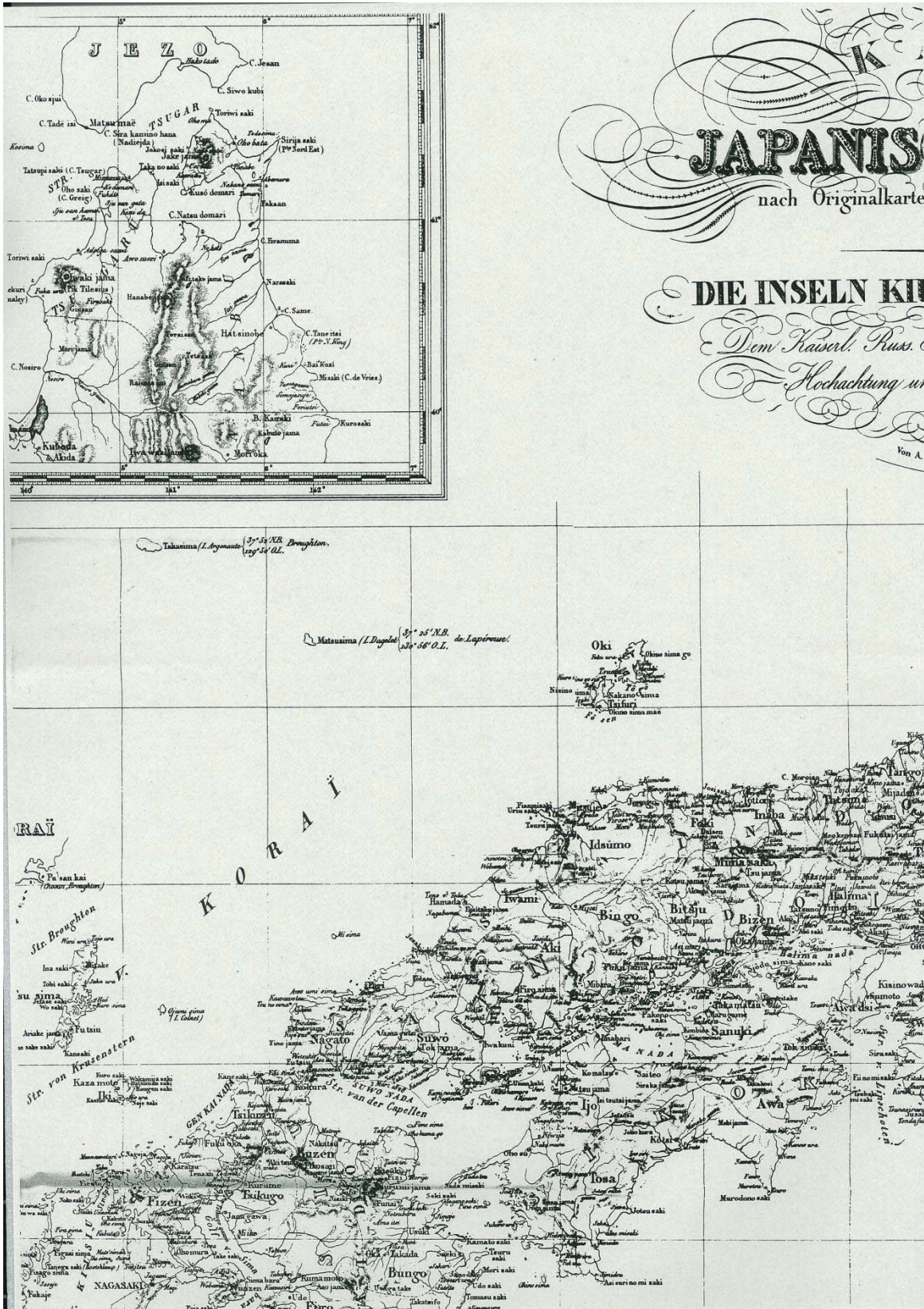
最初に長崎に来日したのは、1823(文政6)年で、滞在中に数多くの標本を収集し、これらの標本はオランダに運ばれ、ライデン市のオランダ国立自然史博物館に保管されている。



シーボルトが持ち帰ったニホンアシカのはく製標本
(オランダ国立自然史博物館所蔵)

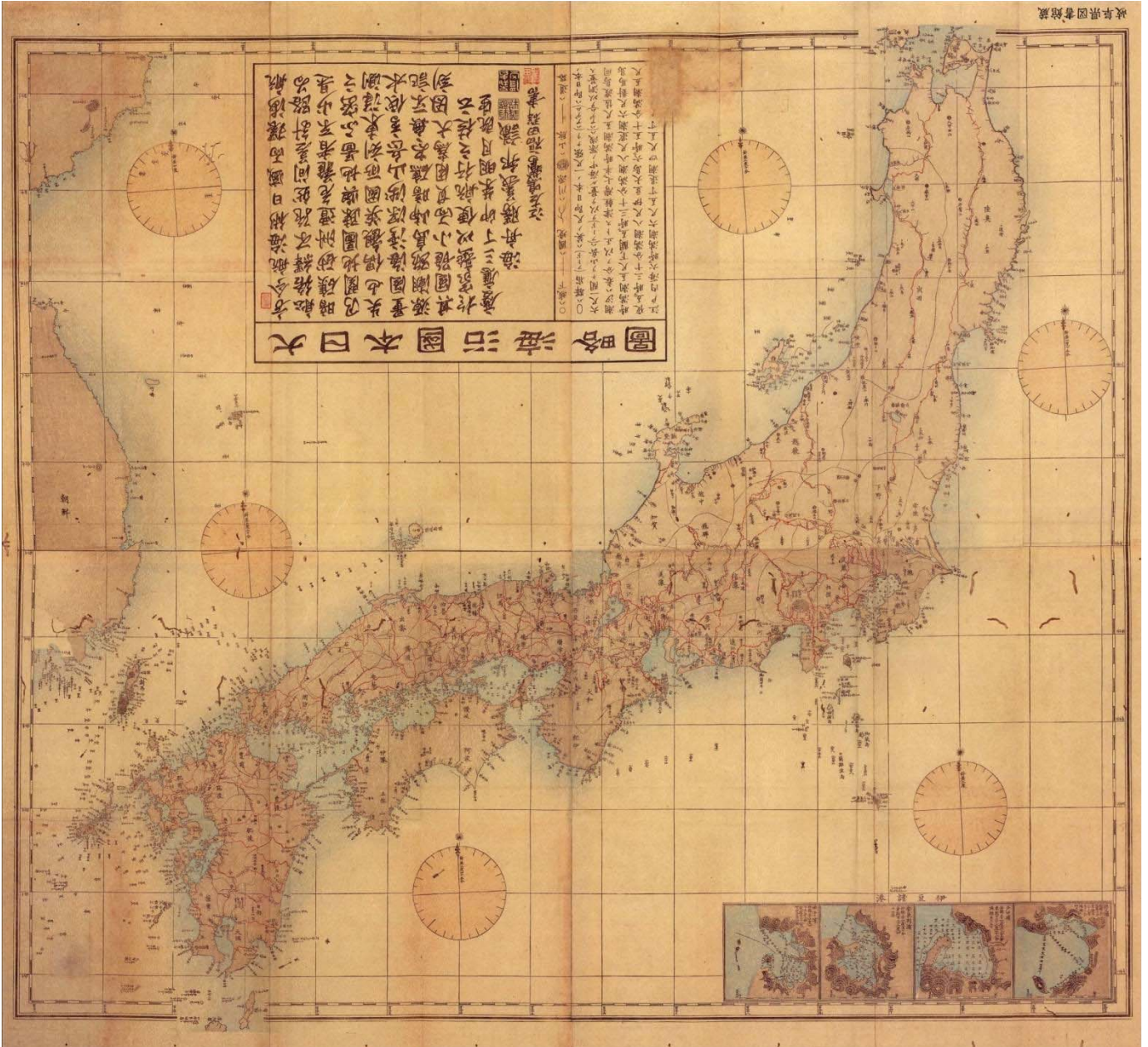


シーボルトの「日本図」 1840年



『大日本国沿海略図』 勝海舟

慶応3(1867)年



東京海国書館蔵

那賀郡淺井村士族大屋兼助外一名松島開墾願

乙号
 列紙
 日本海内松島開墾、義有旨
 此旨内石見郡那賀郡浅井村士族大
 屋兼助外一名松島開墾願書差之
 見号趣之ハ該島、義、河那信白より海上
 距離ハ十三里、簡成ハ方位、当リ、與人ノ
 既島、方之ハ必東、京府ハ大合、身ハ以
 設立、大倉組、江貴、片山、常雄、十九、木村
 代採、ノ、爲、海軍省、第一、四、傳、九、船、ニ
 本、年、ハ、月、該、地、渡、航、除、六、島、助、渡、田、日
 乘、也、日、航、寄、地、足、分、在、至、日、身、先、東、西、足
 四、五、里、事、化、三、王、海、日、四、十、五、六、里、島
 山、レ、テ、海、岩、等、頂、至、凡、日、身、里、年、難、村
 在、在、古、木、桐、茂、レ、其、旨、義、多、ハ、渡、航、且

『自明治14年7月至明治16年4月 朝鮮国蔚陵島へ犯禁渡航ノ日本人ヲ引戻処分一件』第一卷 所収

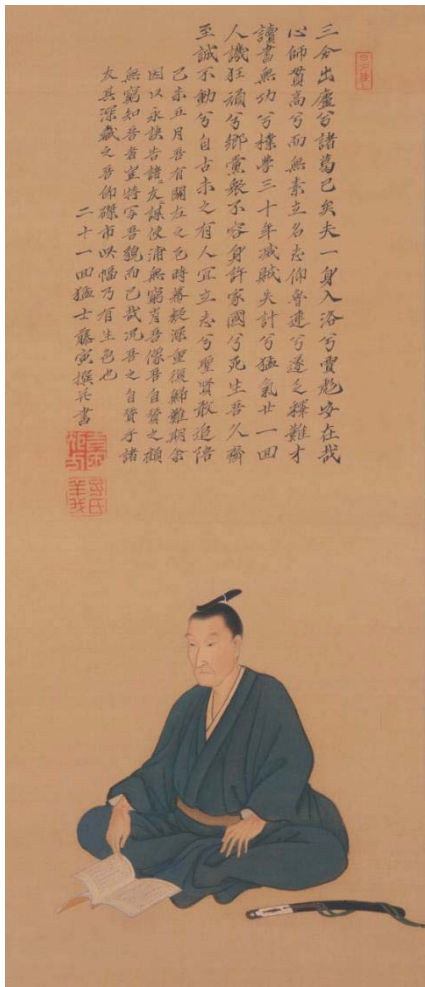
【外務省外交史料館所蔵】

明治九年
 濱田縣事務引渡書
 第一種
 秘書科
 1261
 9册、内3

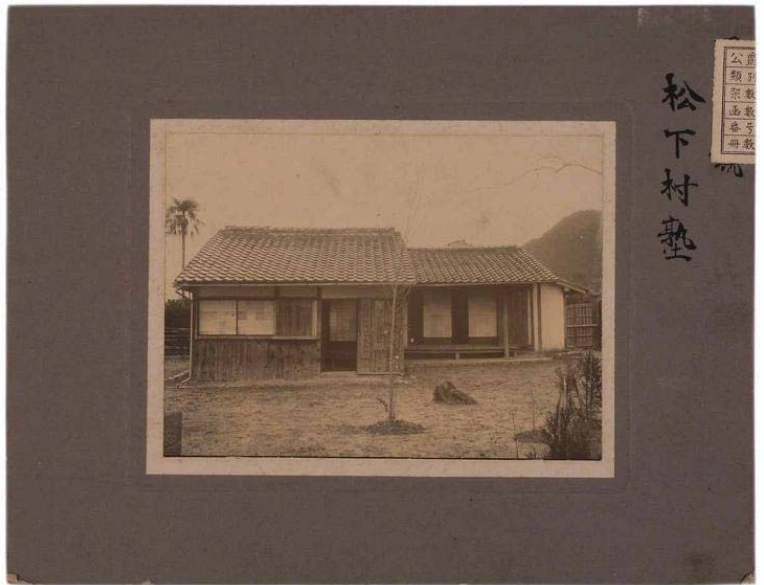
元十五号出仕
 七等筆形
 大屋兼助
 高木兼助
 勝木兼助
 京本兼助
 大橋正
 阿部正
 橋本正
 山崎正
 掃部正
 山崎正
 大屋兼助
 高木兼助
 勝木兼助
 京本兼助
 大橋正
 阿部正
 橋本正
 山崎正
 掃部正
 山崎正

【島根県所蔵】

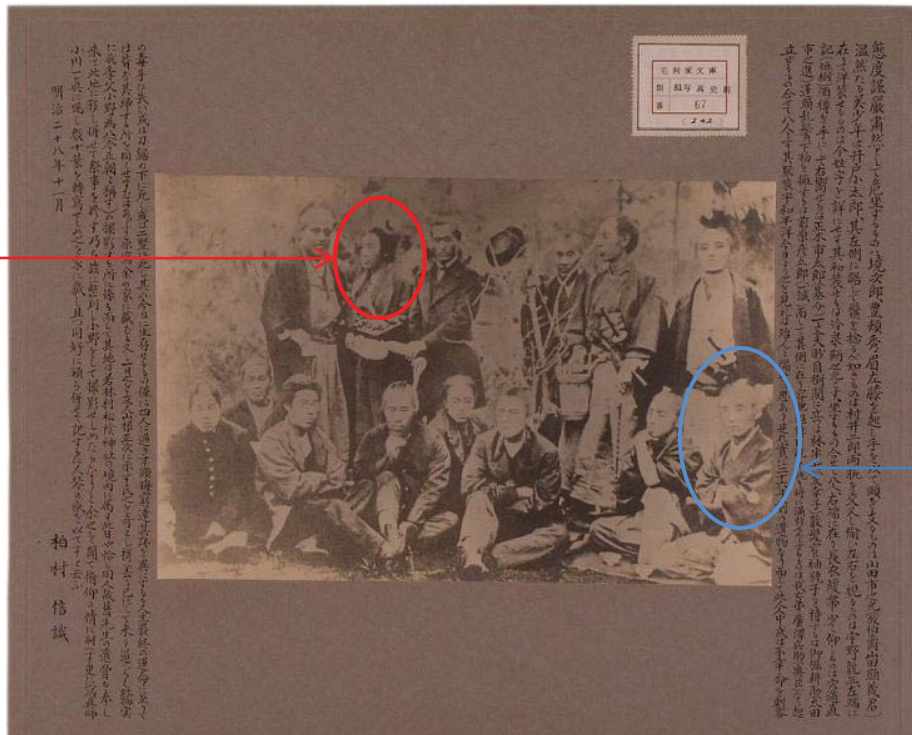
吉田松陰肖像画(自讃入)



松下村塾



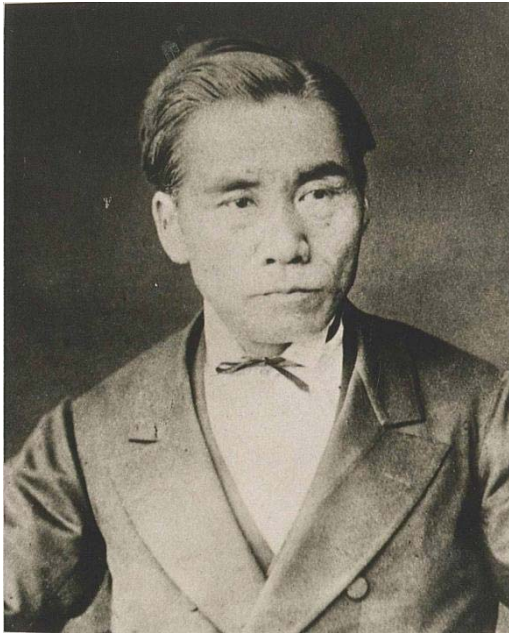
吉田松陰没後10周年慰靈祭に集まった門下生



前原一誠

境二郎

境二郎（島根県参事、島根県令）



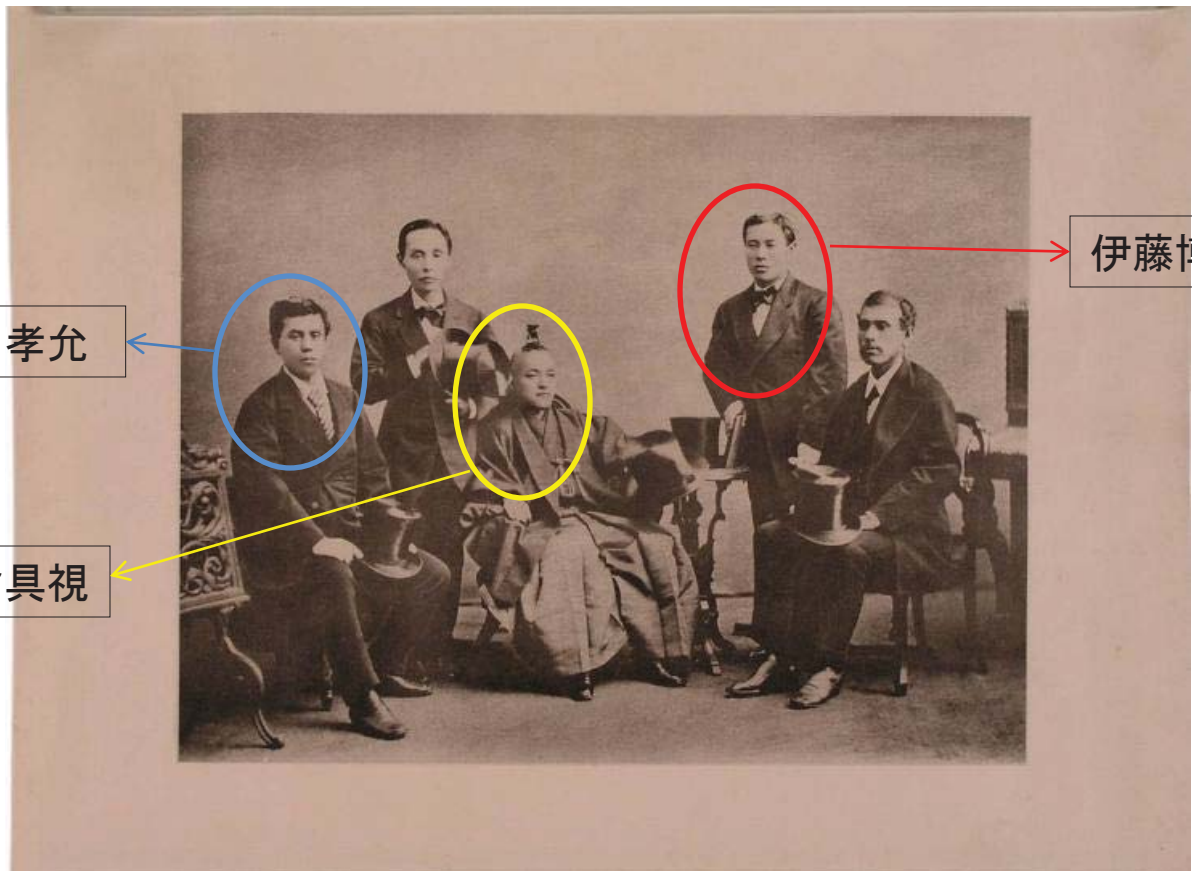
明治9年境二郎が島根県の参事の職にあった10月5日、明治政府の内務省地理寮から「竹嶋ト相唱候孤島有之哉二相聞固ヨリ旧鳥取藩商船往復シ線路モ有之趣」「旧記古図等御取調本省へ御伺相成度」と竹島の地籍の問い合わせがあった。

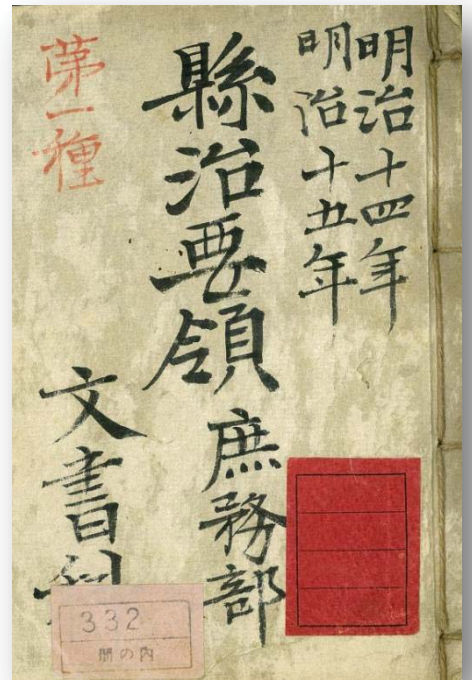
島根県はこの年の4月浜田県と合併し、さらに8月には鳥取県とも合併して俗に大島根県と呼ばれる時代に入ったばかりであった。鳥取藩の元禄時代の竹島渡海に関する旧記、古図を利用した添書を作成し、わずか11日後に「内務卿あて日本海内竹島外一島地籍編纂方何」なる表題で島根県令佐藤信寛、参事境二郎の名で回答がなされた。

県令佐藤信寛は後日本の首相になる岸信介、佐藤栄作の曾祖父に当たる人物で、境二郎と長州コンビで島根の行政を担っていた。

(Web竹島問題研究所/研究レポート「吉田松陰と境二郎」より)

特命全権岩倉使節団一行(明治五年米国華盛頓府ニ於テ撮影)





明治十五年十一月十二日付、以日本海内於島根縣
 義ノ内務農商務ノ西卿ニ稟議ニ至是其指令
 ヲ得ル如左
 書面松島ノ義ハ最前指令ノ通本報關係至之
 義ト可相心得依テ開墾願ノ義ハ許可スルニ
 茲ニ至之候事但本件ハ西名宛ニ不及候事